

KADOMA PHOTO NEWS

弁天池公園で「子ども園長」遊びイベント開催



3月27日、弁天池公園で遊びイベント「弁天池公園で遊ぼう♪」が開催されました。このイベントは、小学生から募った「子ども園長」が広場でできる遊びを考えて準備する体験型ワークショップです。

当日は、春休み中の子どもたちがたくさん訪れ、輪投げや宝探し、ロープわたりなどさまざまな遊びを楽しみました。近くにお住まいで子どもと遊びに来た新谷さんは「今はどこかに連れて行くのも大変なので、近くでこういうのがあると一人でも連れて行きやすくて助かります」と喜んでおられました。「子ども園長」でディスクゴルフを企画した上野口小学校6年生の小峰泰陽さんは「林間学校でこれがおもしろかったので提案しました。たくさん人が集まってにぎやかになってくれたら嬉しいです」と話してくれました。

このプロジェクトは、子どもが求める公園の環境や楽しみ方を子どもの発想で考える参加型プロジェクトです。参加者の意見は「門真市パークイノベーション計画」の参考とし、今後の公園づくりに活かしていきます。



4月6日、京阪古川橋駅前で行われた春の全国交通安全運動初日キャンペーンが行われました。当日はガラスケと一緒に、古川園の園児たちが交通ルールの内容を歌詞に含んだ「ストップ体操」を披露しました。

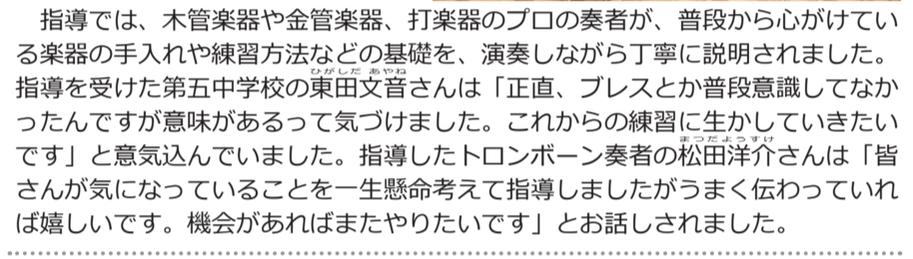
門真市子育て支援親善大使の川崎美千江さんが一日警察署長として参加し「『自転車に乗るときはヘルメットつけや』『周りをよく見るんやで』と、親御さんがしっかり呼びかけてあげてくださいね」と話されました。

その後、川崎さんと門真市交通安全推進協議会のメンバーが、通行される市民の皆さんにグッズを手渡して啓発活動を行いました。



3月12日、関西フィルハーモニー管弦楽団の団員が、市内中学校吹奏楽部の中学生にルミエールホールで演奏指導を行いました。この取り組みは、市と関西フィルが令和2年に締結した「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」の一環で、生徒の技術向上と交流を目的として実施しました。

指導では、木管楽器や金管楽器、打楽器のプロの奏者が、普段から心がけている楽器の手入れや練習方法などの基礎を、演奏しながら丁寧に説明されました。指導を受けた第五中学校の東田文音さんは「正直、プレスとか普段意識してなかったんですが意味があるって気づきました。これからの練習に生かしていきたいです」と意気込んでいました。指導したトロンボーン奏者の松田洋介さんは「皆さんが気になっていることを一生懸命考えて指導しましたがうまく伝わってれば嬉しいです。機会があればまたやりたいです」とお話しされました。



3月23日、ルミエールホールでKADOMA中学生勉強会の卒所式が行われました。KADOMA中学生勉強会は、全15大学40名の大学生が無償で中学生の学習をサポートするなど中学生の居場所をつくる取り組みで、内閣府「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」の大臣表彰を府内で初めて受賞するなど内外から高く評価されています。

この日は約1年間学んだ中学生30人が卒所するにあたり、イントロクイズなどを楽しむ和やかな雰囲気の中、中学生への卒所証書や大学を卒業する4年生への感謝状が授与されました。

門真市出身で関西大学を卒業する教室リーダーの八上奈央さんは「中学生の皆さんや保護者の方々などたくさんの人から『ありがとう』というお声をいただいて、本当にやって良かったです」と振り返られました。

中学生勉強会は、現在、大学生ボランティアを募集しています。お問い合わせはKADOMA中学生勉強会へ直接。

